MITSUBISHI

9609R870HG3701

三菱エアパス用ファン（壁取付専用タイプ）

形名

V-08PFK3〈小部屋用〉
V-12PFK3〈居室用〉
V-20PFK〈居間・事務所・店舗用〉

取付・取扱説明書

取付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に取付けてください。

■電気工事は電気工事店に依頼してください。
■接続パイプは市販の塩化ビニール管・鋼板管のいずれかをご用意ください。
詳しくは「各部のなまえと外形寸法図」をお読みください。
■この製品の運転・停止にはシステム部材のコントロールスイッチまたは市販のスイッチが必要です。市販の3路スイッチも使用できます。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

■ご使用の前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
■お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに同封のお客さま相談窓口一覧表とともに保管してください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を⚠警告・⚠注意の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	⚠注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの傷害に結びつくもの

●図記号の意味は、次のとおりになっています。

	禁　止		分解禁止		水場での使用禁止
	接触禁止		指示に従い必ず行う		

⚠警告

取付時		●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付けてください。 （漏電した場合発火することがあります）
使用時 取付時		●交流100V以外では使用しないでください。 （火災や感電の恐れがあります） ●製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。 （ショートや感電の恐れがあります） ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしないでください。 （爆発や引火の恐れがあります）
		●どんな場合でも改造はしないでください。分解・修理は修理技術者以外の人は行わないでください。（火災・感電・けがの原因となります） 修理はお買上げの販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。
使用時		●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切ってください。 （感電やけがをすることがあります）

⚠注意

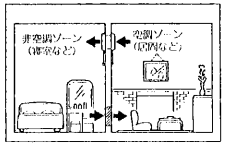
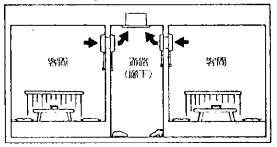
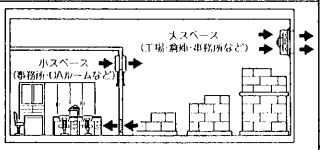
取付時		●直接炎のあたる恐れのある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けないでください。 （火災の恐れがあります） ●天井には取付けないでください。（落下によりけがをすることがあります）
		●浴室など湿気の多い場所には取付けないでください。 （感電および故障の原因となります）
		●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。 （落下によりけがをすることがあります） ●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。 （接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります） ●電気工事は必ず電気工事店に依頼してください。 （感電の恐れがあります）
使用時 取付時		●取付け、お手入れの際は手袋を着用してください。 （けがをすることがあります） ●羽根や部品の取付けは確実に行ってください。 （落下によりけがをすることがあります）
使用時		●本体に異常な振動が発生した場合使用しないでください。 （本体・部品の落下によりけがをすることがあります）
		●運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れないでください。 （けがの恐れがあります）
		●長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切ってください。 （絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります）

お　願　い

●高温(40℃以上)になるところに取付けられていないか確認してください。
（故障の原因となります）
●スプレーをかけないでください。
（グリルが破損することがあります）
●アルミスパイラルダクトへの取付けはしないでください。
（振動の原因になります）
●天井裏・屋外へ直接排気するところ及びトイレには、取付けないでください。
●効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

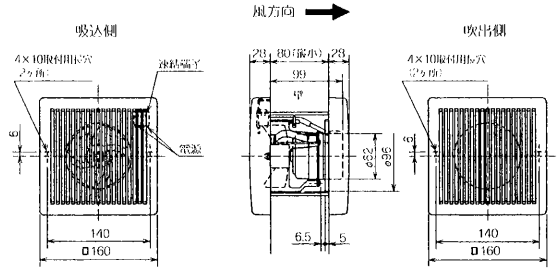
特　長

■部屋から部屋への排気・送風ができます。

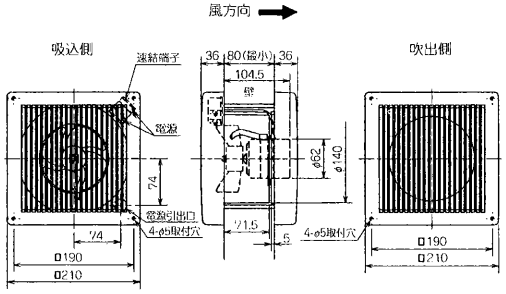
1 空調ゾーンから非空調ゾーンへの送風	2 通路側(廊下)への排気	3 建物内の独立スペースの換気
		
空調ゾーン(居間など)から非空調ゾーン(寝室など)へ、暖かさ・涼しさを送風することができます。	飲食店などで、屋外への排気が不可能な仕切られたスペースがある場合、通路(廊下)側へ排気し、通路側にあるメインの送風機で屋外に排気することができます。	広いスペース内(工場・倉庫・事務所など)に独立した小スペース(事務所・OAルームなど)があり、屋外へ排気ができない場合、広いスペース側に排気しメインの送風機により屋外へ排気することができます。

各部のなまえと外形寸法図

V-08PFK3



V-12PFK3



付属部品

形　名	木ネジ
V-08PFK3	吸込側2本
	吹出側2本
V-12PFK3 V-20PFK	吸込側4本
	吹出側4本

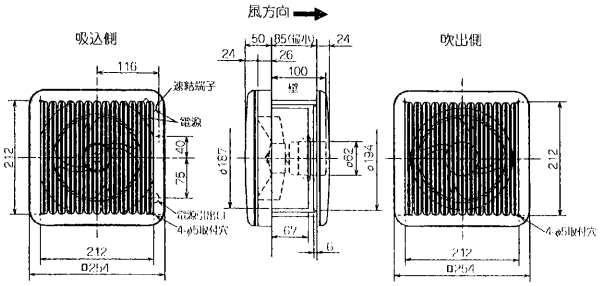
適用パイプ

形名	パ　イ　プ
V-08PFK3	塩化ビニール管 (4番管・呼び径φ100) 鋼板管（内径φ100）
V-12PFK3	塩化ビニール管 (6番管・呼び径φ150) 鋼板管（内径φ150）
V-20PFK	塩化ビニール管 (8番管・呼び径φ200) 鋼板管（内径φ200）

必要壁厚

V-08PFK3 …80mm以上
V-12PFK3 …80mm以上
V-20PFK……85mm以上

V-20PFK

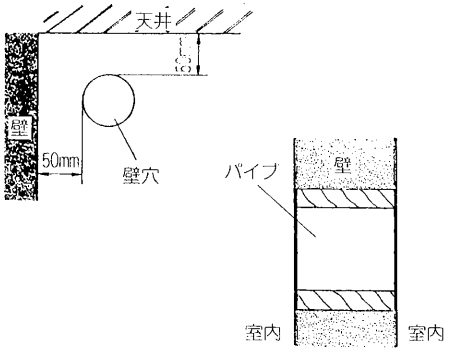


単位（mm）

取付方法

一取付け前の準備

壁取付けの場合



壁穴へのパイプの固定

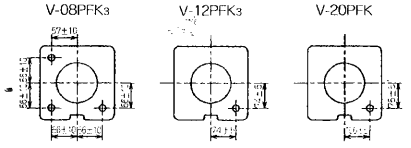
1. 壁厚に応じてパイプの長さを決めます。
   - パイプには塩化ビニル管の薄肉(VU)管と厚肉(VP)管および鋼板管があります。必要に応じたパイプの長さを決めてください。
2. 壁穴にパイプを差し込み確実に固定します。
   - 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
   - パイプは室内壁面より出ないように差し込みます。

一電気工事

■電源の接続・配線工事などは、必ず専門の電気工事店へご依頼ください。

- システム部材のコントロールスイッチを取付ける場合はシステム部材に同梱の取付説明書に従ってください。
- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせて結線してください。
- 吸込側、吹出側の両方から入・切操作をする場合、市販の3路スイッチを用意してください。

⚠警告	禁止	●交流100V以外では使用しないでください。 (火災や感電の原因になります)
⚠注意	必須	●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。 (接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)



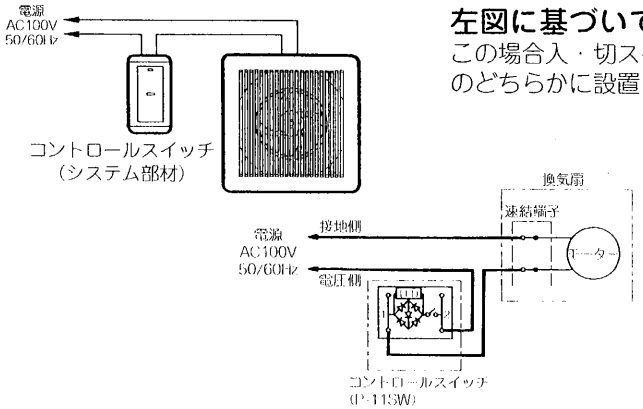
単位（mm）

電源線を左図の位置から室内に引き込みます。

- 電源線はVVF φ1.6 2芯をご使用ください。

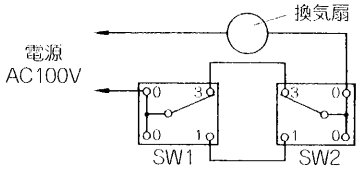
取付方法 つづき

電気工事 つづき



左図に基づいて配線をします。
この場合入・切スイッチは、吸込側か吹出側のどちらかに設置します。

3路スイッチを使用する場合

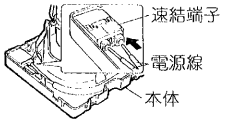


通常は入・切スイッチは吸込側、吹出側のいずれかの設置になります。
両側から入・切操作をする場合には市販の3路スイッチを使用し図のように配線をします。

本体の取付け

吸 込 側

V-08PFK3の場合

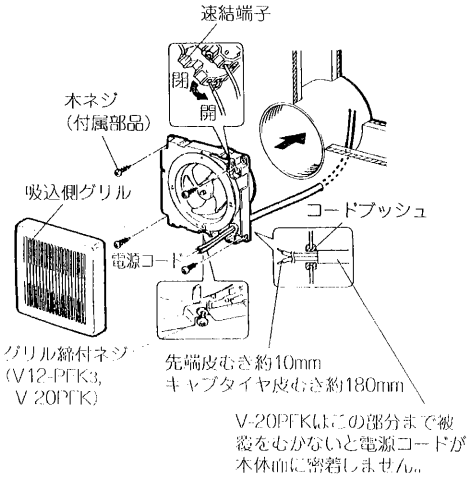


V-12PFK3, V-20PFKの場合

1. グリルを本体からはずします。
(V-12PFK3、V-20PFKはグリル締付ネジをゆるめてから行ってください)
2. 電源線の先端を皮むきして速結端子に接続します。
●皮むき寸法はV-08PFK3は約14mm、V-12PFK3・V-20PFKは約10mmです。
(V-12PFK3・V-20PFKは速結端子のオレンジ色のレバーを起こし、電源線先端を差し込み、レバーを戻してください)

お願い

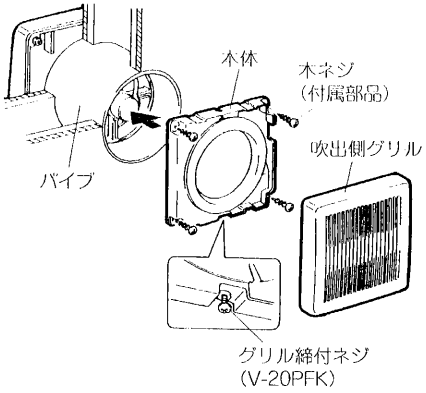
- **電源線の皮むき部分は確実に速結端子に差し込み、端子より出ないようにしてください。**
- **電源線を軽く引っ張って速結端子が確実に固定されていることを確認してください。**



- **電源線は本体面に密着させて配線してください。浮き上がるとグリルの取付けができません。(V-12PFK3, V-20PFK)**

3. 本体の上下を確認してパイプに差し込み付属の木ネジで本体を固定します。
(V-08PFK3の場合は2か所止めです)
4. 吸込側グリルを本体に取付けます。
●グリルの方向を間違えないよう本体にはめ込みます。
(V-12PFK3, V-20PFKはワッシャーをグリルの外側に当ててグリル締付ネジを締付け固定します。)
5. 以上の工事が終わりましたら本体とグリルが確実に取付けられているか確認してください。

吹 出 側

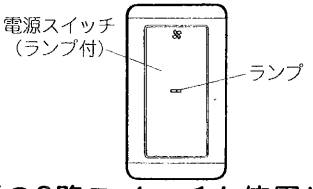


1. グリルを本体からはずします。
(V-20PFKはグリル締付ネジをゆるめてから行ってください)
2. 本体の上下を確認してパイプに差し込み付属の木ネジで本体を固定します。
(V-08PFK3の場合は2か所止めです)
3. 吹出側グリルを本体に取付けます。
●グリルの方向を間違えないよう本体にはめ込みます。
(V-20PFKはワッシャーをグリルの外側に当ててグリル締付ネジを締付け固定します。)
4. 以上の工事が終わりましたら本体とグリルが確実に取付けられているか確認してください。

使用方法

この製品はシステム部材のコントロールスイッチまたは市販のスイッチで操作してください。

システム部材のコントロールスイッチ



■換気するには
電源スイッチの右側を押して「入」にします。
ランプが点灯します。

■止めるには
電源スイッチの左側を押して「切」にします。
ランプが消灯します。

市販の3路スイッチを使用した場合は吸込側、吹出側のどちらからでも入・切操作ができます。

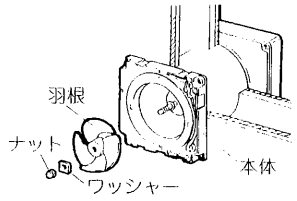
お手入れのしかた

グリル・羽根にほこりなどが付着しますと風量低下や異常音の原因になります。約3か月に1度を目安として清掃してください。

⚠警告	●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切ってください。（感電やけがをすることがあります）	⚠注意	●お手入れの際は手袋を着用してください。（けがをすることがあります）

各部品の取りはずしかた

1. 吸込側・吹出側のグリルを手前に引きながら斜めに持ち上げてはずします。
（V-12PFK3, V-20PFKはグリル締付ネジをゆるめてから行ってください
●V-12PFK3の吹出側には、グリル締付ネジがありません）
2. 吸込側にある羽根のナットを右に回してはずし、羽根を手前に引き出します。



お願い

●羽根を取りはずすと羽根の前後に固定用のワッシャーがありますのでなくさないようにしてください。

清掃のしかた

グリル・羽根は中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して汚れを落してからきれいな水で洗い、よく乾かしてください。

お願い

●お手入れに下記の溶剤等を使用しますと変質・変色する原因になります。

（シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤）

●V-12PFK3, V-20PFKの吸込側グリルには速結端子カバーがありますので清掃の際にはずれないようにしてください。

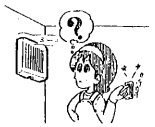
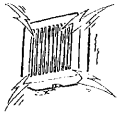
お手入れ後の組立てと確認

お手入れが終わりましたら、取りはずしと逆の順序で組立ててください。
次の点検をしながら組立てをしてください。

1. グリルが確実に取付けられていますか。
2. 吸込側と吹出側のグリルを間違えて取付けていませんか。
3. 異常な音が出ていませんか。（必ず運転を確認してください）

修理を依頼される前に

このような症状があれは点検してください。

スイッチを入れても羽根が回転しない。	運転中に異常音や振動がある。	グリルがはずれかけている。(傾いている)
		
ブレーカーが切れていませんか？または停電ではありませんか？	グリルが確実に本体に取付いていますか？グリル締付ネジがゆるんでいませんか？	グリル締付ネジに不具合はありませんか？

点検・処置をしても直らないときは

電源を切って必ず販売店に点検・修理をご依頼ください。
費用については販売店とご相談ください。

アフターサービス

三菱エアパス用ファンのアフターサービスは、お買上げの販売店へお申しつけください。
なお、おわかりにならないときは、三菱電機お客さま相談窓口一覧表（取付・取扱説明書に同封）のお近くの相談窓口にお問い合わせください。

■補修用性能部品の最低保有期間

換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕　様

（電圧100V）

形　名	周波数(Hz)	消費電力(W)	風量(m³/h)	騒音(dB)	質量(kg) 本体側	質量(kg) 吹出側
V-08PFK3	50	2.5	68	31.0	0.71	0.14
	60	2.6	78	33.5		
V-12PFK3	50	3.7	130	31.0	0.99	0.24
	60	3.9	140	33.5		
V-20PFK	50	5.8	245	34.0	1.1	0.35
	60	6.5	250	34.5		

愛情点検

☆長年ご使用の換気扇の点検を！

換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。

ご使用の際このようなことはありませんか。
- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。
- こげ臭いにおいがする。

使用中止
故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。
点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ
サービスを依頼されるとき便利です。

形　名	
お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ店名 （住　所） （電話番号）	（　　）＿＿＿＿

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
（材質名は主材料にISO規定の略号を使用。）

三菱電機株式会社